

元んしんぼんり



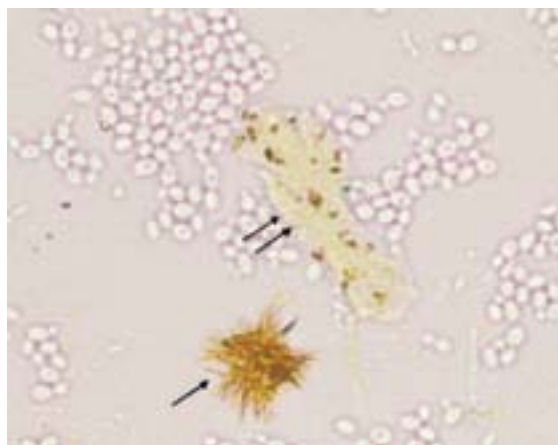
まんじゅしゃげ

今	ビリルビン結晶(尿沈渣)—————(1)	おしらせ(前立腺がん検診実施について)——(4)
回	検査情報(秋の花粉症について)————(2)	声—————(4)
の	検査Q & A(C型肝炎検査法)—————(2)	メモ(施設内勉強会)—————(4)
紙	センター紹介(全自動エンザイムリアッセイ装置)——(3)	編集後記—————(4)
面	ひろば(携帯電話の豆知識・メールリストの話)——(3)	中綴じ(-病態へのアプローチ-)

ビリルビン結晶(尿沈渣) *Bilirubin*

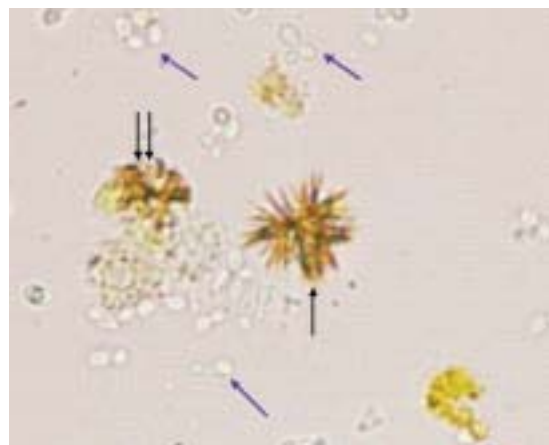
ビリルビン結晶は、健常人には認められない異常結晶の一つです。黄褐色～褐色の短針状・顆粒状結晶で、放射状・束状に集合して見られることが多く、白血球や上皮細胞上にも見られる場合があります。通常は尿試験紙でビリルビン陽性尿中に認められますが、陰性尿中にも認められることがあります。また、肝障害があり、ビリルビン陽性の尿中にみられる混同しやすい結晶としてチロジン結晶がありますが、ビリルビン結晶はクロロホルム・アセトンで溶解し、チロジン結晶は塩酸で溶解することから、これらの鑑別は可能です。

健常人では、血中のビリルビンは尿中に排泄されず、肝臓にて直接(抱合型)ビリルビンとなり胆汁に分泌された後、大腸にてウロビリニン体となり便中に混ざり排出されます。しかし、肝炎・肝硬変・閉塞性黄疸などの疾患により胆道閉鎖が起こると、ビリルビンの大腸への排出ができず、胆汁中の直接ビリルビンが血中へ逆流し、血中濃度が約2.0mg/dlを超えると、腎臓にて濾過され尿中に排泄されるようになります。よって、ビリルビン結晶は、これらの過程により結晶化したものが尿沈渣中に見られるもので、その検出意義は高く、病態を把握する上でとても重要な所見となります。



: 黄褐色の短針状の結晶

: 顆粒状の結晶



: 放射状に集合したビリルビン結晶の結晶

: 白血球上に見られた結晶

(*青矢印: 酵母様真菌)

倍率 x400



検査情報

秋の花粉症について

花粉症といえば春の「スギ花粉症」が有名ですが、夏～秋にかけても花粉症は存在します。この時期の花粉症の原因とされるのはイネ科、キク科等の草花の花粉で、キク科のブタクサやヨモギ、イネ科のカモガヤが代表的な植物です。



ブタクサ (キク科)

飛散期
九州では9～10月

生育場所
道ばた・荒地・畑の
周辺など



ヨモギ (キク科)

飛散期
九州では9～10月

生育場所
市街地・堤防・荒地・
道ばたなど



カモガヤ (イネ科)

飛散期
九州では5～8月
イネ科の多くは早朝から午前中に花粉を飛散させます。晴天
の場合には午前10時頃までに、曇りの場合は1～2時間遅
れでピークが認められます。

生育場所
道ばた・荒地・河川敷など

*異なる種類のイネ科の草花が晩春～秋にかけて長期にわたり花粉を飛散させています。イネ科花粉は強い共通抗原性があるので、晩春～秋まで「イネ科の花粉症」としての症状が持続する可能性があります。

秋の花粉症の原因となる草花の花粉はあまり遠くまで飛ばないため生育場所である荒地・河川敷などの雑草地の周辺住人が発症する割合が比較的高いようです。

この時期の花粉症は夏風邪（プール熱など）の流行と重なることが多く、症状がくしゃみや鼻づまり、人によっては、頭痛などと風邪の諸症状と似ているため夏風邪と思われて病院を受診したところ、結果としてブタクサ等草花の花粉症であったことがよくあるようです。また「スギ花粉症」でなくても秋の草花の花粉症を発症する場合があります。

一週間続けてくしゃみや鼻づまり等の症状があるにもかかわらず発熱を伴わない場合は花粉症の可能性が考えられます。

検査 Q & A



Q：C型肝炎の検査法のPCR法（定量）とDNAプローブ法の違いは？

A：両項目ともC型肝炎のウィルス量を測定する核酸定量検査で、治療方法の選択や経過観察の目的として用いられますが、検出感度が異なります。PCR法（定量）に比べDNAプローブ法では検出感度がやや劣り、現在ではPCR法（定量）が主流となっています。

関連項目としてHCV-PCR法（定性）がありますが、これはもっとも高感度で治療効果の最終判定などに用います。ただし、診療報酬において注意点がありますので、医科点数表の解釈や検査の手引きをご覧ください。

化学検査 中武 志津香



センターご紹介

全自動エンザイムイムノアッセイ装置 AIA-1800ST

AIA-21の後継機種として、蛍光酵素免疫測定法（FEIA）を測定原理とし現在、前立腺癌特異抗原（PSA）及びヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド（BNP）を測定します。

PSAは標準的なRIA法（タンデムR）と良好な相関が得られ、またBNPは昨年導入後順調に検体数も伸びております。BNPについては、今後検診への転用も考えられる有用な項目です。機種の特徴としては、コンタミネーション、キャリーオーバーが無く、前機種（AIA-21）と比較しても自動希釈精度、時間当たり180テスト（AIA-21：120テスト）の処理能力と機能的にも向上しております。測定はバーコード運用を行い、オンラインにて通信することで、迅速かつ正確に検査結果報告ができるシステムを構築しております。



ひろば

携帯電話の豆知識

メーリングリストの話



メーリングリストって聞いたことありますか？

皆さんはサークル等の仲間に同じ内容の連絡をする時、どのような手段で連絡されておりますか？実は複数の方に同じ内容のメールを送る時に便利なのがメーリングリスト（一斉同報メール）という仕組みです。

元は、インターネットメールを利用して、特定の趣味や研究などをテーマに参加者全員に同じメールを配信するパソコン用システムですが、携帯電話の普及でいつでも、どこでも、誰でもメールが利用できるようになり、携帯電話で利用できるメーリングリストサービスが出てきました。機種によってはメーリングリスト機能を内蔵したものもあり、使い方によっては大変便利なツールです。

しかし、秘密の話などを間違えてメーリングリストに流すと、リストに登録された人全員に配信されますので、くれぐれも注意して利用していただきたいと思います。



電算課長 古川 資啓

おしらせ

前立腺がん検診実施について

平成18年度もミニドックと併用して標記検診が次のとおり実施されます。

実施期間：平成18年10月1日～10月31日

対象者：福岡市に居住する55歳以上の男性で希望者

自己負担：1,000円（但し、一部免除者あり）

検体提出：福岡市医師会臨床検査センターへご提出下さい。



声



昭和38年に父が開設した診療所で、平成16年より診療を行っています。それまでは病院の勤務医として臨床を行っていたため、経営という面では全くの初心者でしたが、いまだに一人前というには程遠い状態です。診療所の管理・運営について今でも毎日のように悪戦苦闘していますが、診療面については医師会検査センターのおかげで大いに助かっています。また、検査についてだけではなく、保険請求についてのいろいろな疑問・質問に対しても、基礎的なことから専門的なことまで丁寧にわかりやすく説明していただいています。

さらに、検体を集めに来られる職員のみなさんは、いつも明るくあいさつされ、礼儀正しく、伝達も正確で、感心しています。今後、自分の考える医療を実践していくための診療所に一歩ずつでも近づけていく上で、大いに参考にしたいと思えます。また、追加・緊急の検体があるときなどに、申し訳なく再度の来院をお願いする場合には、いつものような笑顔であいさつをされるので、こちらの気持ちも楽になり、ありがたく思います。検体が少なめのときや、至急の際の対応にも満足しています。これからも、いろいろな面でお世話になりますので、よろしく御願い致します。

医) 梶山医院 院長 梶山 渉

メモ

施設内勉強会	臨床検査技師・営業担当者向（参加要予約）			
「症例検討」	9月28日（木）	16:00	於）カンファレンス室	
「吸入系アレルギーについて」	10月17日（火）	14:00	於）カンファレンス室	
「症例検討」	10月26日（木）	16:00	於）カンファレンス室	
会 議				
臨床検査センター運営会議	9月29日（金）	19:30	於）役員室	

編集後記 台風シーズンの到来です、9月から10月は数多く発生し台風災害が心配されます。屋内外の備えや情報の収集に気を配って、日ごろから災害への対策を万全にしておきましょう。また、被害もなく澄みきった台風一過に期待したいですね。

表紙の曼珠沙華について・・・曼珠沙華とは梵語で「赤い花」という意味です。また、秋の彼岸の頃に咲くので彼岸花とも呼ばれるようになりました。この花は、気温が18 から20 になると一斉に咲き始めます。そのため、昔から秋の種まき時の目安などにもされてきました。生活力旺盛な花で、道端や川の土手など人間の生活のおいがる場所を好んで群生しています。昨日までは葉一枚なかったような場所に、一夜にして花茎が伸び、真っ赤な花が咲き、そして冬には見慣れない葉だけがうっそうと生い茂るようになるので「葉見ず花見ず」という異名までもっています。

原産地：日本、中国 花言葉：悲しい思い出 開花時期：9月～11月

最盛期：9月 花色：赤、黄、白 花持ち：3～4日程度

編集委員 喜久正和 大塚英樹 諫山 修 椎葉 満 井原慎治 奥野隆子 右田道男



〒814-0001 福岡市早良区百道浜一丁目6番9号

福岡市医師会臨床検査センター TEL(092-852-1506) FAX(092-852-1510)

http://www.city.fukuoka.med.or.jp/kensa/kensa.html E-mail: fma@city.fukuoka.med.or.jp

(4)